

令和3年12月

日本薬剤師会 正会員各位

公益社団法人日本薬剤師会  
損害保険ジャパン株式会社

## 『個人情報漏えい保険』改定のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。弊社業務に関しましては、毎々格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

かねてより日本薬剤師会にて取り扱っておりました正会員向け保険制度『個人情報漏えい保険』が2022年2月15日始期契約より『**サイバー保険**』に改定となりますのでご案内いたします。

これまでの個人情報漏えいリスクに加え、薬局の情報システム・ネットワークに関する有効なリスクマネジメントの1つとして、電子データの損壊・情報漏えい・ネットワークの使用不能等のサイバーセキュリティ事故により第三者から損害賠償を請求された場合も補償となる包括的な保険となります。それに伴い、薬局契約の保険料も変更となります。

以下の通りご案内申し上げますので、ご高覧賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 保険料

加入プラン		補償内容概要		年間保険料 (円) ※⇒右記 <b>太字</b> が変更後保険料
		薬剤師 賠償責任保険	<b>オプション</b> サイバー保険	
基本プラン	薬局 A	保険金額 1.5 億円		3,600円
	薬局 B		保険金額 1,000万円	15,600円 ⇒ <b>17,100円</b>
	薬局 C		保険金額 1億円	27,600円 ⇒ <b>30,600円</b>
充実プラン	薬局 D	保険金額 2億円		4,500円
	薬局 E	初期対応サポート (お見舞い費用など) 特約セット	保険金額 1,000万円	16,500円 ⇒ <b>18,000円</b>
	薬局 F		保険金額 1億円	28,500円 ⇒ <b>31,500円</b>
サイバー保険のみ	<b>サイバー-G</b>		保険金額 1,000万円	12,000円 ⇒ <b>13,500円</b>
	<b>サイバー-H</b>		保険金額 1億円	24,000円 ⇒ <b>27,000円</b>

※口座振替にてご加入の方は、変更後の保険料で継続のご案内をお送りしております。プラン変更等ご希望の場合は、恐れ入りますが、日本薬剤師会 HP から変更依頼書をダウンロードいただき、ご提出をお願いいたします。

※薬剤師契約にはサイバー保険のオプションはございません。

【補償内容の改定については裏面をご覧ください】

## 2. 補償内容

		(改定後) サイバー保険	(改定前) 個人情報漏えい保険	
保険適用地域		全世界	日本国内のみ	
対象となる情報		・賠償：個人情報、法人情報 ・費用：個人情報、法人情報	・賠償：個人情報、法人情報 ・費用：個人情報のみ	
対象となる事故	情報の漏えい またはそのおそれ	○	○	
	サイバー攻撃	○	×	
	デジタルコンテンツ 不当事由	○	×	
	ITユーザー業務による 偶然な事由	○	×	
お支払いする保険金	賠償	○	○ ただし、企業情報は1,000万円限度	
	費用	原因調査費用 損害拡大防止費用 など	○	○
		再発防止費用 データ復旧費用 など	○	×
		個人見舞費用	○	△ ※ブランドプロテクト費用で一部補償
		法人見舞費用	○	×
費用保険金のおん補限度額		・賠償のおん補限度額の内枠 ・1事故/期間中の設定	・賠償のおん補限度額の外枠 ・1事故あたりの設定	

## 3. 対象となる事故

### (1) 情報の漏えい、またはそのおそれ

- 個人情報・機密情報を漏えいすることによる他人の精神的苦痛・経済的損害の発生
- 他人の収益機会の阻害や情報悪用による経済被害の可能性

### (2) サイバー攻撃

- 電子データの損壊・消失改ざんによる自社や他人の経済損失
- ネットワークの中断・阻害に起因し発生した他人の機会損失・使用不能損害の発生

### (3) デジタルコンテンツ不当事由

- 情報メディアの過誤による他人のプライバシーの侵害等の人格権や著作権の侵害発生
- 権利侵害に対する慰謝料や他人の経済損失が発生する可能性

### (4) 上記以外の IT ユーザー業務による偶然な事由

- レセコンや独自導入の薬局業務支援ソフト等の所有、使用または管理に起因する賠償事故（除個人情報漏えい事案）
- 誤作動や操作ミス、不適切なシステムの使用に起因する事故

本内容は薬剤師賠償責任保険・サイバー保険制度の改定概要をご説明したものです。

詳しい制度内容につきましては「**薬剤師賠償責任保険・サイバー保険加入のご案内（2022年加入版）**」をご覧ください。